



2月28日予算特別委員会で
文化スポーツ局へ質問

自民党吉田健吾が考える/ 人口減少時代の公共施設整備

吉田健吾が2月28日の神戸市会予算特別委員会で質問した人口減少時代の公共施設整備について
神戸市民からの疑問に対してインタビュー形式でわかりやすくお伝えします。

こんにちは、吉田さん！

先日の文化スポーツ局への質問を拝見しました。

なぜポートアイランドスポーツセンター（以下、PSC）の再整備プロジェクトを取り上げたんですか？

その背後にはどんな想いや経験があるのでしょうか？



吉田 ありがとうございます！

PSCは築40年を越えた施設で、再整備することになっています。当初、聞いた事業費が90億円台で、その時にも「高い！」と思いましたが、最終的な公募時点での事業費は149億円にもなっています。投資するからには、それ以上の効果が必要ですが、果たしてその効果が得られるのか大きな疑問でした。

また、人口減少時代において各種事業は、大きくて高規格を求めるより、冷静に必要性を考えながら進めるべきと考えています。

再整備の募集をしたとき、どうして入札不調だったのでしょうか？
そのことについてどう思いますか？

Q2

人口減少をふまえて、スポーツセンターをどうすればいいとお考えですか？
また、どのように街の施設を作り変えていけばいいと思いますか？

Q3

この再整備が神戸市にどんな良い影響を与えると思いますか？
スポーツ文化をどう育てていきたいですか？

Q4

吉田 水泳、スケートの全国級の大会誘致が掲げられていますが、そのためには客席数を多くしないといけません。そうすると、建物もその分大きくしなくてはいけません。それで建築コストは高くなりますし、センター内の空間も広くなり、光熱費など維持コストも高くなります。

PSCは県大会レベルまでの仕様にしてコストを下げて、全国級や世界級の大会は、新しい神戸アリーナやワールド記念ホールに仮設プールやリンクで実施するという考え方改めるべきだと思います。

PSCのみならず、今後は各施設、慎重に機能や設備の必要性を検討して、将来の維持管理コストにも目を配って考えていくべきです。

吉田 この再整備では、市民の皆様が「するスポーツ」として、水泳、スケートにより親しんでもらうことと、それぞれの競技団体とも協力しながら、市民に夢や希望を与えてくれる素晴らしい選手を育てる場所になってくれると思います。

私自身、市有地有効活用で長年取り組んでいたHAT神戸の人と防災未来センターに民設民営でスケートリンクができ、坂本花織選手はそちらで練習をされると思いますが、新リンクとも連携をとりながらスポーツの持つ力に一人でも多くの方に触れていただきたいです。

意見を考えるときに大切なことは何ですか？
その考えをスポーツセンターの計画にどう反映させていますか？

Q5

吉田 人口・経済が右肩上がりの時代は終わり、人口は減少し、経済も予断を許さない時代になっています。市の人口は2010年に最大の154.4万人いましたが、今から30年後には111.2万人と推計されています。より良い未来、より負担の少ない未来を次代に繋ぐためには、時代背景の違いを認識して、今の時代、これから時代を思い描きながら、考え方を一新させなければなりません。PSCも、30年後も50年後も市民の元気に役立つように、今後も提言していきます。

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 瀧区

吉田健吾

よし だ けい わ

神戸市政報告

灘区版
2024.03 vol. 21

発行日 ●令和6年3月17日
発行元 ●自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846 http://www.jimin-kobe.com



2月28日

予算特別委員会で質問

- がたくさんあります。
- 予算特別委員会にて局別審査が行われますが、会派内で担当局の割り振りを決めて手分けをする関係上、今回
- は文化スポーツ局と教育委員会に対して質問をしました。
- 詳しくは裏面や中面に記載されていますので、ご一読いただけましたら幸いです。

令和6年度神戸市の予算

予算総額:1兆9,270億円(前年比:+77億円)

一般会計 9,057億円(前年比:+263億円)

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

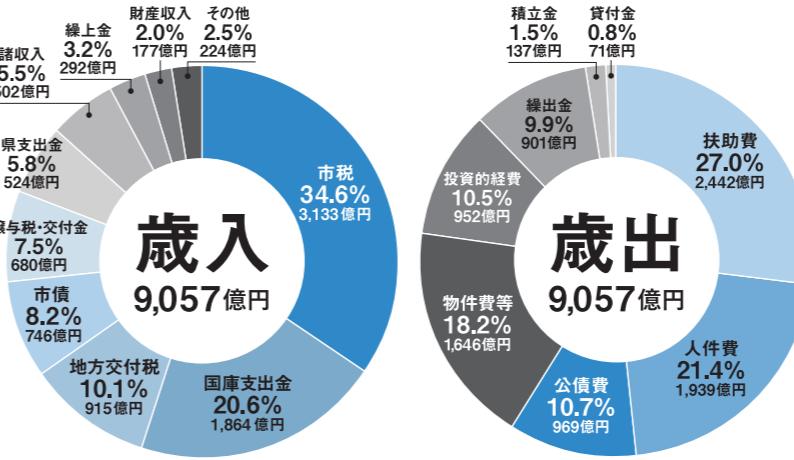
特別会計 6,711億円(前年比:-92億円)

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

企業会計 3,502億円(前年比:+218億円)

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



海と山が育むグローバル貢献都市の実現

市民1人あたりの行政コスト

一般会計の支出を市民一人あたりにすると
60万円になります



※令和5年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,499,510人で算出しています。
※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

令和6年度予算案ならびに関連議案について意見表明を行いました

3月13日に行われました予算特別委員会で意見表明があり、自由民主党神戸市会議員団は令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計53議案について、要望22件を付して承認しました。

要望事項(抜粋)

- 王子公園の再整備に伴い、今年最後の営業となる王子プールなどについては、市民と利用者の記憶に残る行事を行うとともに、記録を残すこと。
- 児童生徒に寄り添った教育を一層推進するため、根本的な教育内容や授業の仕組みの変更、いじめなど対応チームの創設など、固定概念に捉われず改革を進めること。(その他合計22項目)

2.28 文化スポーツ局

委員会の
録画中継は
こちら▶



詳しい
議事録は
こちら▶



再大
胆
討
に

◀2月28日
予算特別委員会にて質問

2.青少年科学館リニューアルについて

吉田健吾 令和4年度から順次リニューアルが進む青少年科学館は、令和6年度で第二期の予算も計上されました。それでも一部未更新の展示室が残る状況です。

中長期的視点から全体のリニューアル計画のための今後の予算がまだ担保されていないことを懸念しています。**施設の適切なマネジメントや今後の予算の確保**方針について教えてください。

宮道局長 ふるさと納税やクラウドファンディングを含む多角的な資金調達を検討。科学技術の日進月歩に対応し、科学館の更新と魅力維持に責任を持ち、予算の確保に努める。医療産業都市の先端技術の展示、神戸高専や神戸大学など教育機関との連携も強化し、科学館としての役割を果たす。

3.王子公園 再整備について



吉田健吾 王子公園の再整備が進行中で、**今年秋からプールが解体**。時期は未定ですがいずれスタジアムの再整備もある。一時的に使用できない期間があると予想されるため、学校園、老人会、競技団体等の従前利用者へ情報提供と丁寧な説明が求められます。

新年度より建設局に再整備本部が設置され、ハード整備が一元的に進められる計画ですが、施設利用ができない期間の代替案提示や、**市民の声を反映した思い出深い最終営業の実現**を市全体として進めるべきです。

4.六甲山・摩耶山の活性化について

吉田健吾 六甲山・摩耶山の活性化策として、インバウンド客を含めた新規誘客のために、**携帯電波やWi-Fiの整備と多言語情報提供が重要**なので改善が必要です。

また自然の家のリニューアルで新たに家族単位の受入れがある。10年の指定管理期間中、運営方法に変更が必要な部分があれば、適宜柔軟に対応すべきではないでしょうか。

宮道局長・檀特担当局長 活性化とリニューアルに向け、文化スポーツ局が積極的に取り組む。電波状況改善とWi-Fi整備を進め、利用者の増加と快適性向上を図る。自然の家は指定管理者との連携を強化し、持続可能な施設運営と利用者満足度の向上を目指す。

檀特担当局長 令和6年度には王子公園再整備本部が設置され、動物園ゾーン整備に伴いプール解体。再整備進捗は市ホームページや広報紙KOBEで情報発信。文化スポーツ局は関係団体との連携を維持し、代替施設案内と説明に努める。

3.6 教育委員会

委員会の
録画中継は
こちら▶



詳しい
議事録は
こちら▶



1.空き教室を利用した 開かれた学校づくりについて

吉田健吾 コミュニティスクール推進で全小中学校に運営協議会が設置されました。地域活動や子育て支援に空き教室を活用し、地域と学校の連携を強化してはどうでしょう?

教員も地域と交流し、「開かれた学校づくり」を行い、学校の中で日常的に地域の方々と交流があり、子どもたちの多様な成長を支える環境作りをすべきと考えますがいかがでしょうか?

工藤部長 開かれた学校作りを通じ、地域や企業との交流で生きる力を養う。令和4年度より、学校運営協議会を設置し、地域とともに子どもたちの成長を支える。学校施設の有効活用を図り、放課後学習や子育て支援、地域活動を推進して子どもたちの成長に繋げる。

3.これからの時代にふさわしい 学校教育のあり方について

(1)教員の役割について

吉田健吾 学校教育における教員の役割が、いじめや不登校、多文化対応など多様な児童生徒のニーズに対応する方向へと変化しています。教員には、多様性の理解・共感や子どもたちの自主性を促す能力が求められており、ICTの活用で**基本学習の効率化を図りつつ、寄り添いの時間を増やし、個々の能力を引き出す教育**が必要とされています。

教員間の質の均一化とチームでの支援を強化し、時代に合った教育改革を進めることを提案します。

(2)先進的な教育の取り組みについて

吉田健吾 AIなど急速な技術進化とグローバル化に対応するため、義務教育では情報活用能力、国際教育、主体性、創造力、問題解決能力などを重視した個別最適教育が求められます。横浜市の中学英語教育5ラウンドシステム、枚方市のタブレットの自由な活用など、各地の革新的な取り組みから学び、神戸市も**授業の根本的な改革を進める必要**があります。

様々な先進例を参考に、神戸市独自のモデルを開発し、成功した教育手法を市全体に展開することで、多様なニーズに応え、教育の質を全体的に向上させることができます。**中高一貫校や特色ある教育選択肢の提供**を通じて、個々の才能を最大限に引き出し、将来を担う人材を育成する方針が重要ではないでしょうか。

高田事務局長、柴田次長 先進的な横浜市・さいたま市の事例は参考にする。新たな授業パッケージを開発中。中高一貫教育は1つの選択肢として重要。市立高等学校の在り方有識者会議での議論と、先進事例の調査研究で中高一貫教育の検討を進めていきたい。

3月6日予算特別委員会にて質問▶

モ
デ
ル
神戸市独自の



詳しい
議事録は
こちら▶



2.いじめ事案など 困難な事案への対応について

吉田健吾 いじめや学校事故の複雑な問題への対応で教員と管理職が精神的に疲弊している現状に注目し、**専門家チームの導入を提案**します。



実際にには学校が最前線で対応しており、教育委員会や弁護士からのサポートにも限界があるため、教員OBや弁護士を含む実働部隊を配置し、問題の初動から迅速かつ適切に対処する体制を構築することが教員保護と保護者の納得に繋がり児童生徒のためになる考えます。年間50件ものいじめ重大事態もあり、充分な人数の専門家で対応していくべきです。

高田事務局長 複雑な事案も増加し教員負担となっていて事務局との早期連携、専門家の支援体制強化が必要。不当とみられる要求対策として弁護士と管理職で対応することもある。初期対応の重要性と教員負担軽減に向けた継続的な支援強化を目指す。

長田教育長、柴田次長、濱田部長 教員の人間力とICT活用を通じた教育の質の向上を目指し、実践型研修と業務効率化を強化。学習指導方法の改善を進め、保護者や児童生徒との寄り添いを重視。学校組織としての組織力向上と教員間の連携を促進し、全員が質の高い対応を目指す。

